

公民館美術展が開催されました

平成24年度公民館美術展が次のとおり町内の各公民館で開催されました。今年もたくさんの方々のご協力により、各会場には多くの作品が並び、訪れた方の目を楽しませていました。

また、各会場内には、公民館講座の受講生が展示作品の制作過程を紹介するコーナーや、作って遊べる体験コーナーなどが設けられ、来館者はオリジナルの香水づくりやCDを使ったコマ製作などを楽しみました。

開催日 七会公民館(11月3日、4日)／桂公民館(11月10日、11日)／常北公民館(11月17日・18日)
(作品展出品者(団体)／町内保育所(園)、幼稚園、小・中学校、一般、公民館講座受講生、文化協会各部 など)



▲七会公民館



▲桂公民館



▲常北公民館

文芸しるさと

短歌

赤い羽根を今年も受けて手作り
の人形の胸にかざりてあげぬ
青柳 京子
秋日和菊花のあはひ巡りなば
あまき香りのながれて清し
所 美恵子
農作業独り成し来ておふくろ
と言はるる齢と既になりをり
杉山みちこ
女の孫と共に汗して綱引きし
運動会のひと忘れず
渡辺千紗子
先祖から受けつぎし田より穫
れし新米供えて感謝の味をか
みしむ
山形 式妙

惜しみなく秋陽浴びつつ畑中
にこぼれし大豆を一日拾えり
大森 久子
二人して作りし大根白菜は今
朝の食膳湯気立つ味噌汁
鶴田 すが
老夫婦絆深めて五十年良き日
悪しき日歩みて至福
菌部 光子
子供ありてささえてくれる力
増す喜寿の祝いにつくづく想う
富田 欽子
境内に黄葉を降らせし大銀杏
毅然と立ちて春を待ちいる
枝 不美
ストーブを切れば愚痴めく音
のして火芯は青き炎を消しぬ
片見 和枝

ひとり居の米寿の我もいそがし
く師走の日々を過ごせるを謝す
川上千代子
夜半の雨に裸木となりたる大
銀杏黄金のじゅうたんはべら
せ立てり
島 愛子
天心の六角堂成るを見据え来て
「亜細亜ハ一なり」の石碑に触る
多田志保子
まがり腰さらに曲げつつ店仕
事今日も手伝う老の身なれど
坪井きよ子
濡れ落葉踏まれ飛ばされ漂い
てやがて終の地見つけ安らぐ
萩谷登喜子
岩の峰いくつ連ねて袋田の滝
水寒し陽はかたむきて
富田佐智子

俳句

蛸足の如き根をもつ生姜掘る
飯田 勇一
稽田にボール飛び交ひ子等の声
いそべきよ
九階に泊る東京北風遠く
竹内 幸子
銀杏は食するまでの手間いっ
ぱい
袴塚よし子
北空港降りてコートに衿立てし
綿引 英子
太陽の正面に干し子の布団
鯉渕寿美恵

畝立てし長き直線冬夕焼
仲田まちゑ
神の山裾野にりんご村展け
飯村 昭子
夫婦岩注連に朝日の射してをり
森 静江
紅葉に抱かれ流れ蛇行せり
今瀬多代美
若人の素手もて割りしりんご
なり
寺門 孝子
菊日和抹茶の加減たしかめし
一杉 常子
裏路は日向の匂ひ青菜畑
瀬谷 博子
今年藁鎮守注連縄固くしめ
岩下 金司

川柳

ゆるやかに浮雲冬を流しをり
田口 勝元
八十寿すぎだつべ川柳ボケ防止
青木新三郎
老夫婦けんかのたねは物忘れ
富田 多蔵
秋もいい秋の桜で飲むもいい
飯村 孝一

